

コード	40106
作成年度	24年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	魅力ある漁村づくり
--------	-----------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	水産業の振興

課コード	116	関係課名
主管課名	水産課	

## 基本事業の目的

安全で快適な生活環境をつくるため、集落排水施設や防災施設、生活道や緑地等の整備を推進するとともに、観光漁業、体験型漁業など都市と漁村の交流、他産業との連携を図ることにより魅力ある漁村づくりを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	体験漁業交流	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	交流人数÷目標数値	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成24年度	目標達成年度	
目標達成数値	100人	目標達成数値	

年		度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
成果指標 1	目標 A	単位	人	70	100	100	100	100
	実績 B		人	95	180	623	265	
	達成率 B/A		%	95.0	180.0	623.0	265.0	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	現在、体験漁業交流として、新魚目地区の体験漁業施設を利用した小学生向けの櫓こぎ体験等が行われ、平成23年度は子供37人が体験した。また、観光漁業の交流として島外から228名の参加あり（定置網体験に27人、水産加工体験に151人、養殖餌やり・魚釣り体験37人）漁業体験を行った。
	課題	メニューが充実していないので、他の産業部門と連携して魅力的なプログラムを作成しなければならない。
	改善	漁業体験の交流人口の増を図るには、7～9月の夏季シーズンだけの利用にとどまらず、年間を通した新たなメニューを取込むことと、日帰り体験ではなく宿泊滞在型の可能性を検討する余地があると思われる。また、利用者（観光客、修学旅行）への情報提供や申込先の一元化が必要である。
2次評価		漁業集落の安全・快適な環境整備を進め、漁業集落と都市部との交流を図ることにより、地域の活性化を促進していくこと。そのためには、新たな観光資源の開発に努め、島外からの交流を増やすとともに漁家所得の向上にもつながるよう観光物産課と連携して体験メニューの創出、誘致に努めること。
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

## ◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	評価対象事業なし				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費					